



大会規則 Tournament Rules



- ① チームは、試合開始予定時刻の1時間前までに球場に到着し、その旨を大会本部に申し出る。試合開始予定時刻になってもチームが球場に到着せず、それらについて何ら絡がない場合には、棄権とみなす。但し、交通事情による到着遅延については、大会本部で協議して決定する。
- ② 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始予定時刻の30分前とする。第2試合以後は、前試合の4回終了後とする。各チームの主将は、所定のメンバー用紙3通(放送がある場合は4通)を持参し、本大会本部に来ること。
- ③ 全試合、7イニングとし、得点差によるコールドゲームを適用する。但し試合成立は5回とし、暗黒・降雨によるコールドゲームは適用する。

【以下は細則第7項の試合規程を適用の抜粋】

コールドゲームは、5イニング以降7点差以上をもって適用する。

【特別ルール】

所定のイニング、所定の時間をもって終了時点で同点の場合は、次の特別ルールで勝負を決する。

無死、満塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝とする。

打者は継続打者とし、走者は当該打者の順次前とする。

選手の交替は、通常の試合同様にできる。

但し、一度試合から退いた選手は出場できない。

尚、1イニングを行い同点の場合は、上記同様の条件として、継続打順で行う。

決勝戦は、上記のコールドゲームを適用せず9イニングまでの延長を認める。

- ④ 暗黒・降雨などで試合が途中で中止になった場合は、5回以前に中止になった場合(ノーゲーム)でも、5回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止の場合でも、原則として再試合にしないで、翌日の第1試合に先だって特別継続試合を行う。但し、決勝戦は再試合とする。
- ⑤ ベンチは、抽選番号の若い方を1塁側とする。先攻・後攻はじゃんけんで決める。
- ⑥ シートノックは、行わない。グラウンドには、監督、コーチ、登録選手20名で、事前練習等を行うものとする。
- ⑦ メガホンは監督のみ使用することができる。
- ⑧ バットリング、鉄棒等の球場への持ち込みを禁止する。
- ⑨ 事故防止のために、捕手のマスク・レガース・プロテクター・ヘルメット・ファールカップと打者、次打者、走者・ランナー・コーチのヘルメットは必ず着用すること。
- ⑩ バット、マスク、ヘルメット、その他用具等は、試合前に審判員の確認に応じなければならない。
- ⑪ 突発事故が起きた場合に、一時走者を変えたいときは球審に申し出て、審判団が必要と認めた場合はこれを許可する。尚、審判員の判断でも可。(臨時代走、投手を除く打順前位の者とする。)
- ⑫ 選手交代の申し出は、監督が行う。
- ⑬ ルール上の疑義に対しては、当事者と監督が直接、質問することができる。
- ⑭ 天候等(降雨・雷)によって、試合の進行を中断することがある。
- ⑮ 監督はファウルラインを超えてダイヤモンドの中に入れる。但しかけ足のこと。
- ⑯ 野球規則5.10原注(投手は1イニングに投手以外の守備に2度以上つくことは許さない。)と野球規則5.10原注(1イニングに投手へのアドバイスのためにタイムが2回とられた場合、自動的に投手交代になる。)は本大会で適用する。
- ⑰ 各チームの監督かコーチは、球場を去る前(試合終了30分以内)に本部に連絡し、次の試合の日程を確認する。
- ⑱ 監督・コーチは選手と同じユニホームを着用する。
- ⑲ 勝ちあがりにより試合が続く場合は、前試合の終了後、次試合開始までは30分間の休憩時間を確保する。
- ⑳ グラウンド内での練習は、ダイヤモンド以外で行う。
- ㉑ その他、上記特別規程に明記なきことは、全軟連の競技規則並びにIBA-boys大会細則に準じて行う。
- ㉒ 投手の投球制限については、1日7イニングまでとする。【尚、決勝戦の延長回数、及び特別延長戦の投球回数は数えない】3分の1イニング(アウト1つ)未満の場合であっても1イニングとして数える。



大会規則 Tournament Rules



【競技場の注意事項】

- ① 天候等による大会実施の可否については、各チームに大会本部より連絡する。
- ② 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチはミーティングに参加せず、直ちに所定の場所につくこと。
- ③ 攻守交代のとき、投手又は投手プレートに最も近い野手がボールをプレート近くに置く。
- ④ 打者は、みだりに打者席をはずしてはいけない。サインは、打者席から見ること。
- ⑤ 無用のタイムは慎み、試合進行に協力すること。
- ⑥ 試合中のグラウンド内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。その際、投手の投球が始まったら、次打者は、ネクストバッターサークルで待つこと。
- ⑦ テーピングは投手の指先は禁止とし、その他については審判団の判断に従うこと。
- ⑧ ファウルボールの処理は、両チームが行う。
- ⑨ 「野次」は絶対に慎むこと。
- ⑩ 中学生らしくない危険なプレーは行わないこと。
- ⑪ 選手は、スポーツマンとして恥ずかしくない態度をとるように心がけること。
- ⑫ 試合終了の挨拶は、ホームプレートをはさんですべて完了するものとし、次の試合のために速やかにベンチをあけること。
- ⑬ 応援団は、次の禁止事項を守ること。なお、これについては各チームの監督、コーチが責任を持って指導すること。
 - (1) 紙吹雪、紙テープ、個人名を書いたのぼり等の使用。
 - (2) 「野次」など相手チームに不利になるような応援。
 - (3) 応援席を散らかしたまま帰ること。
- ⑭ スコアカード(本部で用意)に自チームの攻撃、及び自チーム投手の投球回数を記録し本部に提出する。
- ⑮ 試合時間、試合終了時間時の考え方
 - (1) 決勝戦以外の試合時間は、100分とする。
 - (2) 後攻チームが負けている状況で、(そのイニングに試合終了時間となり)攻撃を続けて逆転した場合は、逆転を持って試合を終了する。(次の回には進まない)
 - (3) 後攻チームが負けている状況で、(そのイニングに試合終了時間となり)攻撃を続けて同点となった場合は、特別継続試合を行う。(次の回には進まない)
 - (4) 先攻チームが勝っている場合では、(そのイニングに試合終了時間となり)その回の後攻を行い試合終了とする。尚、時間については、運営委員が開始時間を両チームに伝える。計測は運営委員が行う。また、最終回、及び残り時間についての通告は、行わない。

【新型コロナウイルス感染予防対策】

- ① 試合中の円陣の声出しは禁止とする。
- ② ハイタッチ、グータッチなどの肌が触れ合う行為を禁止する。
- ③ 監督、コーチ、保護者等のベンチ入りの大人はマスク着用を義務付ける。
プレー中の選手のマスク着用は義務付けないが、控え選手はマスクの着用を推奨する。
- ④ ダックアウト内では、選手間は指導者の指導の元、ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。
- ⑤ ベンチの入れ替えは前の試合のチームが完全にベンチを空けてから、次チームはベンチに荷物を入れる。
- ⑥ ベンチ内、応援席での応援は拍手を推奨する。
- ⑦ 守備タイムの際に、監督、コーチがマウンドでハドルを組む場合、指導者は必ずマスクを着用する。
フィールドに守っている選手は口元をグローブ等で隠す。
- ⑧ 保護者の応援はダックアウトと最低2m離れた位置で、人と人の距離を最低1m空けるように心掛ける。
- ⑨ 来場者全員の検温、アルコール消毒を行う。
- ⑩ 待機中のチームは全員マスクの着用を義務付ける。
- ⑪ 万が一、大会期間中に感染者が発生した場合、大会を即中止とする。